





















審議内容

(1) 令和5年度事務事業評価（一次評価結果）について

後日回答事項①（会議録p3）

（質問）

現在、県内に在住しているよさこい移住者の人数を把握しているか。

（回答）

令和5年10月末現在 28名。

よさこい移住者数の把握については、令和5年度から開始したところで、内訳は、申出を頂いた方に記念品を贈呈することで把握した移住者が15名、よさこい移住応援隊として任命している移住者13名の計28名であり、令和5年度以降に移住した方をのみを対象としていない。

後日回答事項②（会議録p5）

（質問）

資料1 416 ページ橋梁の震災対策事業について、震災後に、橋の橋げたと橋脚がずれ、緊急車両が橋を渡れないという状況が生じたときに、橋の機能を速やかに回復できるようにする工事を実施するとのことだが、工事の対象となる橋梁について本数的には、どの程度であるか。

（回答）

橋の機能を速やかに回復できる耐震対策については、「緊急輸送道路」のみでなく、災害時、重要な路線となる、「道路啓開ルート」や「物資配送ルート」等の重要な路線上に存在する橋梁について、対策の必要性を検討し、対象橋梁を22橋選定した。

事業期間は10年間で、総事業費は約39億円を予定しており、令和6年度から順次、対策を実施していく。